昭和63年8月2日第3種郵便物認可　平成10年1月1日発行（毎月1回1日発行）第165号

SHIRAKOBATO

しらこばと

SHIRAKOBATO SAITAMA

1998. 1

WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

NO.165

日本野鳥の会 埼玉県支部

第５回野鳥密猟問題シンポジウム・広島大会

福井恒人（浦和市）

全国野鳥密猟対策連絡会主催の第５回目のシンポジウムは、平成９年９月６日（土）と７日（日）の２日間、広島県三滝少年自然の家で開催され、埼玉県鳥獣保護員でもある私は今回も埼玉県支部から派遣され、参加してきました。

■参加団体などは

環境庁、広島県警察、検察庁やその他の行政関係、報道関係などの22団体に、日本野鳥の会18支部からの参加者ら合計180名が集まりました。

当日はあいにくどしゃ降りの雨。

飛行機、電車、タクシーなどを乗り継いで駆けつけましたが、会場は山の頂上近く、最後は急坂の続くつづら折り約２キロの道を歩いて登り、更にとどめに、８段と12段、合計20段の石段の上にありました。（編集部註・報告は正確にしなければいけませんので、こんな時でもちゃんと石段の数を数えたのでしょう。大したものです。）雨だか汗だか分からないびしょ濡れで会場にたどり着くと、既に始まっていました。

■基調講演

山階鳥類研究所の茂田さんが、メジロの識別に関する講演をしました。

環境庁の依頼に対する中間報告の段階とのことでしたが、輸入メジロと国内産メジロの違いがよく分かり、今後ペットショップなどでの指導取り締まりに役立つものと思われます。輸入地に近い島部の亜種との比較が特に問題になっていましたが、埼玉県内の野生メジロと、県内で販売される密猟メジロの識別には、ほとんど影響ないでしょう。

△パネルディスカッション

一日も早く、環境庁から正式に、識別指導書として発表されれば良いと思います。

■事例報告

高知県の行政担当者から、メジロの無許可飼育摘発の事例報告がありました。

警察官が、巡回連絡で立ち寄った先でメジロを飼育しているのを見つけて、行政担当者に連絡。県警と行政の合同による家宅捜索が行われた結果、不法飼育のメジロや飼育用具などが押収されました。

更に捜査を続けたところ、メジロの入手先の小鳥店が判明。小鳥店の家宅捜索では、メジロ33羽、ウグイス１羽、キビタキ１羽が見つかりました。

店主は、日本鳥獣商組合連合会の発行した「鳥獣輸入証明書」を50数枚も示して、すべて中国産の輸入鳥であると主張しましたが、その後の捜査で密猟鳥であることを認めたというものです。

このような事例報告は、毎回各県の行政担当者により報告されます。

■実状報告・パネルディスカッションなど

岐阜県、愛知県、広島県、福岡県の各支部と密猟対策連絡会事務局などから、密猟に関する実状報告がされた後、広島県支部の新宅氏から、ジンバブエで開催された第10回ワシントン条約会議にＮＧＯ一員として参加した様子が報告されました。

更に「西日本におけるメジロ鳴き合わせ会とその対策」というテーマのパネルディスカッションと続き、午後６時ころに、ようやく疲れた一日目の公式日程が終了しましたが、その後も夜遅くまで、各支部の代表の方々との非公式交流が続きました。（編集部註・福

明けまして　おめでとうございます

支部長　松井昭吾

会員の皆様には、希望に満ちた素晴らしい新年をお迎えの事と、お慶び申し上げます。

埼玉県支部も着実な成長を遂げ、会員数も約3,000人と全国でもトップレベルの支部のひとつとなり、益々の活躍が期待されています。

支部活動はすべてボランティアに頼り、皆さんのご協力なくしては成り立ちません。特に本年2月7日（土）～8日（日）には、狭山市の智光山荘で関東地区9支部が集まる関東ブロック協議会を主催することになっていますので、役員、リーダーをはじめ、多くの方の一層のご協力をお願いします。

野鳥の会は全国50,000人の会員を擁し、明らかに日本最大の自然保護団体です。「自然保護」というと非常に堅苦しく取られがちですが、まず第一に「鳥」を好きになっていただくこと。そうすればその「鳥」がいつまでも見られるような環境を維持したくなるのが心理でしょう。私たちはそういう気持ちをより多くの人に持っていただくよう探鳥会などの機会に働きかける。このような姿勢でじゅうぶん「自然保護」運動に参加しているといえるでしょう。

鳥を楽しみながら、この楽しみを多くの人に分かち合い、それが「自然保護」につながるよう、それぞれの立場で行動しようではありませんか。

井氏は、酒はあまり飲みませんが、そんな時は人一倍楽しんでしまう才能の持ち主です。）

■2日目の分科会と全体会議

一夜明けて、午前9時から分科会が開かれました。

私の参加した分科会のテーマは、「野鳥の密猟の実態とその対策」と「野鳥の国際取り引きの問題点」のふたつ。

いろいろ話し合いましたが、分科会の結論として、今後も密猟防止に努力するが、野鳥の会は保護団体であって、取り締まり機関ではないことを自覚して対応することも必要であろうということになりました。

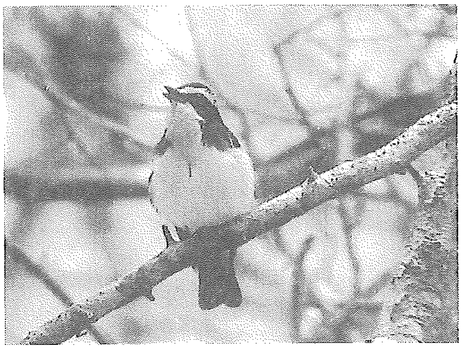
その後、全体会議、アピール文採択と続いて、12時過ぎに解散、まだ大雨が降り続いている坂道をくだりました。

■我が埼玉県では

手もとに少し古い統計しかないのですが、県内での平成6年度の鳥の飼養許可の状況がどうなっているかというと、次の通りです。

メジロ167羽、オオルリ41羽、ヒバリ41羽、ウグイス39羽、ホオジロ32羽、ヤマガラ30羽、コマドリ16羽、アカゲラ4羽、ウソ2羽、キビタキ2羽、クロツグミ2羽、コルリ2羽、アオゲラ1羽、オオタカ1羽、ヒガラ1羽、合計382羽。（編集部註・合計数が合いません。どうしよう、福井さん。）

▽キビタキ（撮影・福井恒人）



埼玉県では、近年愛玩用の捕獲許可は出されていませんので、この数字が年々増えることはありません。

この数字が多いか少ないかはともかく、理屈の上で言えば、埼玉県内で野鳥として生息している種類で現に飼育されている鳥の内、一応の飼養許可が出ているこれら400羽ほど以外のすべては、「鳥獣輸入証明書」が付けられた輸入鳥ということになりますが、到底そんなことを信じることはできません。

やはり、前途多難です。

白馬山麓探鳥会

山川　登・武子（大宮市）

11月８・９日の白馬山麓探鳥会に参加してきました。総勢27名のバス旅行でした。２日間、穏やかな秋晴れに恵まれ、美しい紅葉、新雪の白馬三山、木の実をついばむ小鳥たち、おいしい空気、香ばしい落ち葉の匂いと自然を丸ごと楽しんだ気分でした。

車中では探鳥解説や野鳥ビデオの放映があったり、走行中に川沿いのサギやカモ類を観察したり、さらに、養魚場の上空ではトビの群れに出会ったり。車に接近したトビが意外に大きいのにびっくりしたりしました。

また、車窓に映る見事な里山の紅葉、豊かに実った柿の木のある民家などを眺めていると気持ちも安らぎ、楽しい車中でした。

往路、長野県八坂村の唐花見湿原で昼食後に探鳥。ミヤマウメモドキの赤い実をつけた見事な群落やまわりのカラマツやコナラの素晴らしい黄葉に見とれていましたが、湿原の松の木の実をついばむイスカの♂♀に思わず歓声。図鑑でしか見たことのない鳥に会えて嬉しくなりました。

宿に着いて、倉下の湯で疲れをとり、夕食後歓談、当日撮影された方々のビデオ鑑賞。

翌朝は６時に起床、一面の霜。白馬三山が朝日に輝き始めるのを見ながら浅間山を探鳥。宿に戻って朝食後、上部林道を散策。珍しい熊棚を見ることができました。

今、あの居心地の良さ、気持ちの解放された落ち着いた楽しさは何なんだろうと思いかえしています。「センス・オブ・ワンダー」を皆が共有しており、リーダーの方たちが、それを体現するように心を配っているからかもしれないと思いました。

△全員そろって記念写真

定期的に自然観察会

渡辺浩平（長野県白馬村）

信州白馬は我が国有数の自然の宝庫です。気候、地理上の特性がそうさせるのでしょう。山上の栂池・八方、山麓の湿原・林道、いずれにおいてもその多種多様さには驚かされることが多いのです。

ネイチャーセンターたる夢の山小屋“にほめの一歩”では、今年からは定期的に自然視察会を実施することになりました。今計画しているのは、１月と４月から11月までの合計９回。各月第４週の水曜日から金曜日までの２泊３日で参加費18,000円。天候や季節に合わせて最適のポイントを選択します。

先着20名まで。詳しくは０２６１－７２－４４９１にお電話ください。

「鳥の目から環境を調べよう！」調査

先月号でお願いした調査はがきを同封しました。ご協力をお願いします。

（研究部・小荷田行男）

表紙の写真

オオハクチョウ（ガンカモ科）

1986年３月４日、富山県の田尻池で撮影しました。田尻池は周囲約１km程の農業用水池ですが、北陸では珍しくオオハクチョウが40～50羽越冬する非常に観察しやすいポイントです。

昨年までは石川県支部でのんびりと鳥三昧していましたが、当地に移転して埼玉県支部に入会。会員数、探鳥会数に驚くと共に、正にボランティアとしての活動に感服しています。

高　克浤（上尾市）

高麗川鶴舞地区で野鳥観察会

増尾　隆（坂戸市）

坂戸市の「鶴舞まちづくり委員会・高麗川河川改修勉強会」の第３回野鳥観察会を、11月16日（日）に行いました。

午前８時に参加者19名が自治会集会所に集合。児玉達也委員長の挨拶の後、勉強会の主旨にそって、当日のテーマを「野鳥と生息環境の関連」と提示して、フィールドに出ました。

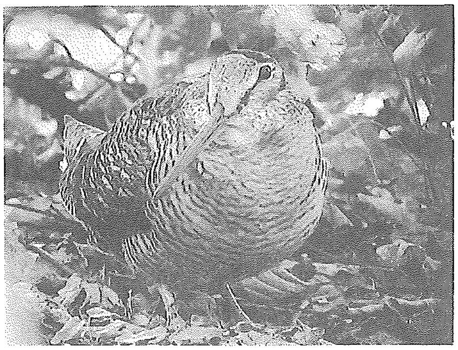
冬鳥のジョウビタキやシメ、ツグミ、ベニマシコ等が出現し、カワセミには皆で歓声を上げ、午前11時30分に楽しく終了。

その後集会所に戻って鳥合わせ。水辺にいた鳥、草原、林、やぶにいた鳥というように分類して、多様な生息環境が野鳥には必要であることを認識していただきました。

続いて山下勉副委員長から、建設省の「ふるさとの川整備事業」に伴うプロジェクトの現時点での進捗状況の説明がありました。

坂戸市長を委員長とする整備計画検討委員会（専門家、市民、関係者等で構成）で浅羽堤外地は「自然観察・校外学習の拠点－水辺の楽校プロジェクト」を推進することがまとめられ、図面も作成されているとのことで、参加者に配布されました。坂戸市が事業主体となり、事業予算は県と同市、着工平成10年度、完成まで10年間の予定で、ネイチャーセンター、池、野鳥観察施設等が整備され、ビオトープ地区になるそうです。質疑応答の後解散しました。

（観察会指導員：黒木昭雄、坂口和子、坂口稔、増尾節子、増尾隆）。



ヤマシギ（蟹瀬　武男）

はみ出し行事あんない

茨城県・涸沼＆いわき海岸探鳥会（要予約）

期日：２月28日（土）～３月１日（日）

集合：28日午前７時45分　JR大宮駅西口。出発は午前８時頃。詳細は参加者に別途通知いたします。

交通：往復とも貸切バス利用

費用：20,000円の予定（バス代１泊２食付き、宿泊費、懇親会費、保険料を含む）。万一過不足は当日清算。

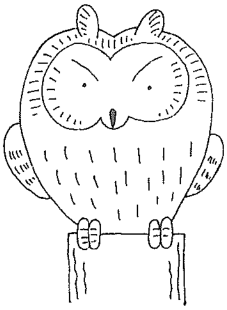
定員：20名（先着順・支部会員優先）

申し込み：通常はがきに住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記して、中島康夫まで。

担当：中島、櫻庭

見どころ：多種多様の鳥達が楽しめます。ハクチョウ類、海ガモ類、カモメ類、ワシタカ類、それに冬の小鳥達。なんと昨年はこのコースで82種観察できました。今年も出てくれるかな。

注意：宿泊は男女別の相部屋です。個室は用意できません。



（何森　要）

おまけの情報コーナー

■企画展示　野草スケッチ展

場所（主催）東大和市立郷土博物館
東大和市奈良橋1-260-2
TEL 042-567-4800

期間　１月15日（祝）まで（１月中の休館日１～５日、12日）

入場　無料

内容　博物館講座「植物画教室」の講師と受講生の作品を展示

野鳥情報

富士見市水子柳瀬川左岸　◇９月23日、水田上空でショウドウツバメ約20羽、ノビタキ１羽。11月３日、クズ原でマヒワ約15羽。11月９日、アシ原でベニマシコ♀１羽（中村治）。

大宮市日進町１丁目　◇ほとんど冬にしか見られない鳥の当地での初認情報です。10月１日、カケス１羽。３日、モズの高鳴き。13日、チョウゲンボウ１羽。16日、セグロセキレイ１羽。20日、メジロ１羽。21日、キセキレイ１羽。22日、ウグイス１羽。30日、アオジ１羽。11月10日、ツグミ１羽。12日、ジョウビタキ♀１羽。14日、ホオジロ２羽、シメ１羽。20日、ビンズイ３羽（森本國夫）。

浦和市三室　◇10月19日、タヒバリ３羽（芳川伸一・リリィ）。

岩槻市芳林寺　◇10月29日、雑木林に夕方からムクドリ700羽前後初飛来。スズメ、カラスといざこざあれど、ムクドリ優勢。11月８日現在、100～200羽居ついている（芳川伸一・リリィ）。

所沢市山口　◇10月30日、ジョウビタキ♀初認。11月14日、エナガ、シジュウカラの混群。自宅前では、エナガは初めて（小林ますみ）。

横瀬町県民の森　◇11月２日、エゴノキにヤマガラ３羽、マヒワの群れ、コガラ、ヒガラ、シジュウカラの混群（小林ますみ）。

所沢市柳瀬川　◇11月３日、12日、オシドリ。12日は、♂４羽♀１羽まで確認できたが、死角でそれ以上は見えない。オシドリ観察中カワセミの声が盛んに聞こえた（小林ますみ）。

蓮田市元荒川　◇11月５日、オシドリ♂７羽♀４羽、タシギ１羽、コチドリ４羽、イソシギ１羽、モズ１羽（道祖土修一）。

狭山丘陵いきものふれあいの里センター　◇11月５日、アオジ、ジョウビタキ。11月11日、カケスの群れ。雑木林の上で大騒ぎ（小林ますみ）。

吉見町南吉見　◇11月５日午後４時頃、大沼下の県道と市野川の間の田んぼでハイイロチュウヒ♀１羽。２～３ｍの低空で飛翔し体の上面は褐色で上尾筒の白が目立った（増尾隆）。

坂戸市高麗川　◇11月６日、多和目橋上空でチョウゲンボウ１羽。少し下流で、目の前の木からオオタカ１羽が飛び立つ。上空でカラス２羽にモビングされて空中戦（増尾隆）。

吹上町北新宿地区　◇11月８日午前６時15分、永勝寺前路上でアオバト１羽落鳥拾得。車事故と思われるが、発見時は、まだ暖かかった（高橋正）。

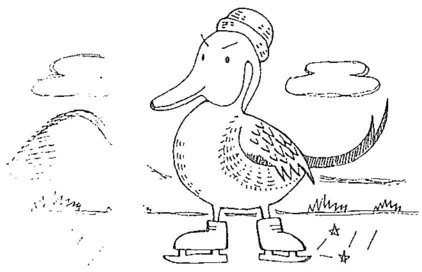
川本町荒川明戸堰上流　◇11月９日、コハクチョウ約40羽、ハマシギ７羽、イソシギ１羽、ホオジロガモ♀１羽。他のカモ類とは少し離れて盛んに水中に潜っていた。廻りにいるカイツブリと同じ位の時間潜っていた。オオタカ２羽。11月15日、コハクチョウ約100羽、ノスリ１羽、ハマシギ４羽、クサシギ、タヒバリ、オオジュリン各１羽。11月24日、カワウの群れの中に頭から頸の部分のかなり白い個体が１羽。スズガモ♀１羽、ホオジロガモ１羽。12月６日、トビ、ノスリ、ハイタカ、チョウゲンボウ各１羽　ノスリ、ハイタカは対岸の木に長時間とまっていた（後藤康夫・喜久子）。

志木市柳瀬川　◇11月16日、高橋～栄橋間でハヤブサ幼鳥１羽。北西上空で小鳥の群れを襲っていたが、カラス１羽にモビングされて南へ飛び去った（中村治）。

越谷市立中央中学校付近　◇11月22日、オオミズナギドリ１羽が保護された。越谷市初認（山部直喜）。

戸田市道満彩湖　◇12月４日、ハジロカイツブリ１羽、ウミアイサ♂１羽♀２羽、オオタカ、ノスリ、チョウゲンボウ各１羽（島田康行）。◇12月６日、マダラウミスズメ１羽。冬羽でしたが初列風切が図鑑に比較して白と黒のマダラ模様でした。頭部から背にかけては、茶褐色で図鑑とは若干異なっていました。くちばしは黒でした（篠原東彦）。

行事あんない


（何森　要）

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後１時頃。小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

久喜市・菖蒲公園昭和池探鳥会

期日：１月10日（土）
集合：午前９時30分　菖蒲公園駐車場
交通：JR宇都宮線白岡駅よりタクシーで約10分。バスの便はありません。
担当：中島（康）、松井、玉井、浅田、内田
見どころ：この池にカモの飛来数は減ってきたとはいえ、3000羽以上がカウントされています。この中にトモエガモは何羽見つけられるかな。アメリカヒドリも来ているだろうか。

春日部市・内牧公園探鳥会

期日：１月11日（日）
集合：午前８時30分　東武伊勢崎線春日部駅西口東武バス１番バス停前。または午前９時15分　アスレチック公園前駐車場。
担当：吉安、中村（栄）、入山、橋口、松永
見どころ：公園は一番野鳥が多い季節を迎えました。葉の落ちた雑木林の中で冬鳥達を探しましょう。また刈り田の中ではタゲリがお待ちしていますよ。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：１月11日（日）
集合：午前９時30分　秩父鉄道大麻生駅前
交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居9:03発に乗車
担当：和田、森本、中島（章）、石井（博）、倉﨑、松本、高橋
見どころ：冷たい風を思いっきり顔に受けての98年大麻生の鳥見開きです。フィールドではアカゲラ、アオゲラ、コハクチョウ達が新年の挨拶を待っていますよ。さあ！　正月休みで弛んだ体を引き締めましょう。

北川辺町・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：１月11日（日）
集合：午前９時15分　東武日光線柳生駅前。または午前９時30分　中央エントランス駐車場。
交通：JR宇都宮線大宮8:01発→栗橋8:30着、東武日光線乗り換え8:58発→柳生9:08着
担当：新堂、松井、内田、中里
見どころ：湖面に勢ぞろいした数千羽のカモ、大空に舞うワシ・タカ類を見ながら湖畔を約４km歩きましょう。防寒対策は充分にしてお出かけ下さい。

千葉県・船橋海浜公園探鳥会

期日：１月11日（日）
集合：午前９時15分　JR総武線船橋駅改札口付近（集合後京成バス9:40発で現地へ）。または午前10時　海浜公園バス停前。
担当：杉本、佐久間、菱沼（一）、篠原（東）
見どころ：公園沖の浅海域（三番瀬）は、日本有数の水鳥の渡来地。一面のスズガモの中にウミアイサ、ホオジロガモな

どが見られます。またミヤコドリも越冬しています。

長瀞町・長瀞探鳥会

期日：1月18日（日）

集合：午前９時30分　秩父鉄道長瀞駅前

交通：秩父鉄道熊谷8:23発。またはお花畑9:01発（西武鉄道所沢7:43発が接続）に乗車。

担当：小池、町田、青山、林、岡野、井上、堀、堀口、喜多

見どころ：渓流に浮かぶオシドリ、河原で遊ぶキセキレイ、薮からひょっこりベニマシコ。静かな長瀞の冬を野鳥達と楽しんでみませんか。

吉見町・吉見百穴周辺探鳥会

期日：1月18日（日）

集合：午前９時30分　吉見百穴前

交通：JR高崎線鴻巣駅東口、中村カメラ店前より東松山行バス8:53発にて百穴入口下車、徒歩５分。駐車場利用者は百穴入園券を購入し、フロントガラス内側に見えるように置いてください。

担当：榎本、岡安、内藤、藤掛、立岩、島田、今井

見どころ：真冬の透明な日ざしを背中に受けて、百穴から大沼まで鳥影を探して歩きます。タカもきっと大空を飛んでくれるはず。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：1月18日（日）

集合：午前８時15分　京浜東北線北浦和駅東口（集合後バスで現地へ）。または午前９時　浦和市立郷土博物館前。

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見、福井、渡辺（周）、手塚、伊藤、笠原、若林、倉林、岡部、兼元、嶋田、森

見どころ：支部探鳥会の原点・見沼たんぼから「おめでとうございます」。月に1度の仲間達の出逢いの場所として今年もお出かけください。芝川のタゲリが歌舞伎役者の振りをして待っています。

宮城県・伊豆沼探鳥会（要予約）

期日：１月24（土）～25日（日）

定員に達しましたので締め切りました。

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：１月25日（日）

集合：午前９時　西武新宿線狭山市駅西口

交通：西武新宿線本川越8:42発、または所沢8:36発に乗車

担当：長谷部、高草木、藤掛、石井（幸）、小野、中村（祐）、山本、久保田

見どころ：入間川では昨秋から工事が行なわれているため水辺の鳥は余り見られそうもありません。せめて稲荷山公園で青や黄色の鳥が見られるといいのだけれど。

長野県・軽井沢探鳥会

期日：１月25日（日）

集合：午前８時50分　しなの鉄道中軽井沢駅前

交通：長野新幹線あさま551号・上野7:14→大宮7:35→高崎8:05→軽井沢8:31着、しなの鉄道乗換8:39→中軽井沢8:43着。

（注）中軽井沢駅に駐車場あり

解散：午後２時ごろ、現地にて

担当：町田、小池、岡安、林、堀

見どころ：今年はイスカの飛来情報がちらほら、それにヒレンジャク、ベニマシコなどの赤い鳥も期待したいところ。長倉神社を経て塩壷温泉まで歩きます。防寒と足拵えはしっかりと。

大宮市・花の丘公園探鳥会

期日：１月31日（土）

集合：午前９時20分　花の丘駐車場

交通：JR高崎線宮原駅西口より東武バス大宮花の丘行き9:00発に乗車、終点下車。

担当：櫻庭、松井、中村（栄）、浅見（健）浅見（徹）、飯塚、高、丹

見どころ：公園周辺の西新井の森で冬鳥達を求めて歩きます。シメ、カシラダカ、アオジに加えて、赤い鳥が出てくれるといいですね。

『しらこばと』袋づめの会

とき：１月３１日（土）午後１時～２時ごろ
会場：支部事務局１０８号室

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：２月１日（日）
集合：午前８時30分　北本自然観察公園駐車場。または午前８時15分　JR高崎線北本駅改札口（集合後タクシーで現地へ。リーダーの指示で分乗してください）。
担当：岡安、内藤、榎本、立岩、永野（安）、永野（京）、川那部、島田、大坂、高、山田
見どころ：身近にある雑木林ですが、前年同季の探鳥会では45種を記録！　今年も赤い鳥、青い鳥、キツツキ、猛禽類を期待しましょう。石戸宿を今年もよろしく。

浦和市・民家園周辺定例探鳥会

＜差間コース＞
期日：２月１日（日）
集合：午後２時45分　浦和市くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前
交通：JR浦和駅西口バス１番乗場、大崎園芸植物園行14:10発。または東川口駅北口行き14:22発に乗車、念仏橋下車。
解散：午後５時ごろ、現地にて
後援：浦和市くらしの博物館民家園
担当：手塚、伊藤、工藤、新堂、笠原、吉岡、若林、倉林
見どころ：身近にある自然の中で、冬鳥達が越冬をしています。ここでのこの時間は、やはり夜行性のコミミズクに期待がかかります。（時間に注意）

越谷市・古利根川探鳥会

期日：２月１日（日）
集合：午前９時　東武伊勢崎線北越谷駅東口（集合後バスで現地へ）。
交通：東武野田線大宮8:02発→春日部にて東武伊勢崎線に乗換え8:36発→北越谷8:53着
担当：山部、神場
見どころ：超ビギナー向きの探鳥会。カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモとユリカモメだけ。ごくフツーの冬の水鳥を、じっくりゆっくり、穴の開くまで観察します。

蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：２月１日（日）
集合：午前８時45分　JR宇都宮線蓮田駅東口バス停前（集合後バスで現地へ）。
担当：玉井、中島（康）、吉田、田中
見どころ：久しぶりの冬の黒浜沼での探鳥会です。身近な自然の中、水辺、あし原、木立の中に春を待つ鳥達を求めてのんびりと歩きましょう。もしも、大空にオオタカが輪をかいてくれたら最高。

茨城県・菅生沼＆浮島探鳥会（要予約）

期日：２月14日（土）
集合：午前７時45分　JR大宮駅西口。出発は午前８時頃。詳細は参加者に別途通知いたします。
交通：往復とも貸切バス利用
費用：5000円の予定（バス代、保険料等）万一過不足は当日清算。
定員：20名（先着順・支部会員優先）
申し込み：通常はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を明記して、中島康夫　まで。
担当：中島、中村（栄）
見どころ：それぞれに特長のある探鳥地２ケ所を一日で巡る初登場のデラックスな探鳥会。なにが出てくれるかは当日のお楽しみとしますが、ハクチョウ類、猛禽類、カモ類等みどころがいっぱいです。

行事案内は５頁にも掲載しています。

行事報告

6月1日（日）　大滝村　三峰神社
参加：48人　　天気：晴

アオバト　ツツドリ　ハリオアマツバメ　アオゲラ　アカゲラ　コゲラ　キセキレイ　ヒヨドリ　ミソサザイ　コルリ　ウグイス　キビタキ　サメビタキ属sp　コガラ　ヒガラ　ヤマガラ　シジュウカラ　ゴジュウカラ　ホオジロ　カワラヒワ　カケス　ハシボソガラス　ハシブトガラス（23種）観光客が多くて参加者がロープウェイに乗り切れず、開始時間がかなり遅れた。このため、朝鳴いていた小鳥たちも一休みした状態で、あまり現われてくれず、参加者の皆さんも飽きてしまった様子。しかし、奥宮拝殿付近でハリオアマツバメが現われて堪能でき、ほっとした。　（田口浩司）

10月12日（日）　浦和市　秋ヶ瀬
参加：53人　　天気：晴

カワウ　コサギ　アオサギ　カルガモ　コジュケイ　キジバト　アカゲラ　コゲラ　ツバメ　ハクセキレイ　ヒヨドリ　モズ　シジュウカラ　メジロ　カワラヒワ　スズメ　ムクドリ　オナガ　ハシボソガラス　ハシブトガラス（20種）森の中で静かにじっとしていると鳥の方で寄ってくる楽しさを体験。　（福井恒人）

10月19日（日）　浦和市　三室地区
参加：85人　　天気：晴

カワウ　ゴイサギ　ダイサギ　コサギ　アオサギ　カルガモ　コガモ　オナガガモ　ホシハジロ　トビ　オオタカ　コジュケイ　クイナ　バン　タカブシギ　イソシギ　タシギ　キジバト　コゲラ　ヒバリ　ハクセキレイ　セグロセキレイ　ヒヨドリ　モズ　シジュウカラ　メジロ　ホオジロ　カワラヒワ　スズメ　ムクドリ　オナガ　ハシボソガラス　ハシブトガラス（33種）オーストラリアからアラン・リチャードさんがやって来た。松井支部長が昨年オーストラリアの探鳥会でお世話になった人で、旅の途中日本の鳥を見に来たそうだ。ライフリスト2300種で、日本の鳥も147種見ているとか。オーストラリアの探鳥だったら喜んで案内してくれるそうだ。鳥は、快晴の空にオオタカ２羽とトビが乱舞。人は例会４位の85名。小さな国際交流の探鳥会だった。　（楠見邦博）

10月25～26日（土～日）長野県　戸隠飯綱高原
参加：31人　　天気：25=晴、26=曇時々雪

カイツブリ　カルガモ　ヒドリガモ　トビ　オオタカ　キジ　キジバト　アオゲラ　アカゲラ　コゲラ　セグロセキレイ　ビンズイ　ヒヨドリ　モズ　ジョウビタキ　アカハラ　シロハラ　マミチャジナイ　ツグミ　ウグイス　センダイムシクイ　キクイタダキ　ムギマキ　エナガ　コガラ　ヒガラ　ヤマガラ　シジュウカラ　ゴジュウカラ　キバシリ　ホオジロ　カシラダカ　アオジ　アトリ　カワラヒワ　マヒワ　イカル　シメ　スズメ　カケス　ハシボソガラス　ハシブトガラス（42種）長野は秋晴れに恵まれ、紅葉もまずまずであった。一の鳥居では、さっそくカラ達が出迎えてくれた。キクイタダキやムシクイも混じっており、幸先のよいスタート。途中ハプニングもあったが、台座法師池に無事着いた。新幹線利用で集合時刻を早くできたので、鏡池まで足を延ばし、ムギマキを見られた。翌日、森林植物園に着いた頃から天候が悪くなり、時々小雪が舞った。キャンプ場へと急ぐ途中で、マミチャジナイやアカハラ、イカルの群れに出会い、大収穫。キャンプ場では、キノコ汁やホットミルクで体を暖めた。　（菱沼一充）

10月26日（日）　川越市　西川越
参加：43人　　天気：晴

カイツブリ　カワウ　ゴイサギ　ダイサギ　コサギ　カルガモ　コガモ　チョウゲンボウ　コジュケイ　キジ　イカルチドリ　イソシギ　キジバト　カワセミ　コゲラ　ヒバリ　ハクセキレイ　セグロセキレイ　タヒバリ　ヒヨドリ　モズ　ジョウビタキ　シジュウカラ　メジロ　ホオジロ　アオジ　カワラヒワ　スズメ　ムクドリ　ハシボソガラス　ハシブトガラス（31種）今日はどうかなと、

まずは川辺に出た。暖かいせいかカモ類は少ないが、ジョウビタキ♂が出て、ゆっくり見られた。カワセミはあっちで出た、こっちで出たと忙しかったが、結局はいつもの所で、じっくり見られた。
（佐久間博文）

11月8～9日（土～日）長野県　白馬山麓
参加：26人　天気：晴

カイツブリ　カンムリカイツブリ　カワウ　ダイサギ　コサギ　アオサギ　マガモ　カルガモ　コガモ　キンクロハジロ　ホシハジロ　トビ　オオタカ　ノスリ　キジバト　アオゲラ　アカゲラ　コゲラ　キセキレイ　ハクセキレイ　セグロセキレイ　ヒヨドリ　マミチャジナイ　ツグミ　ウグイス　エナガ　コガラ　ヒガラ　ヤマガラ　シジュウカラ　ゴジュウカラ　キバシリ　メジロ　ホオジロ　カシラダカ　ミヤマホオジロ　アオジ　アトリ　カワラヒワ　マヒワ　イスカ　ベニマシコ　ウソ　イカル　スズメ　ムクドリ　カケス　ハシボソガラス　ハシブトガラス（49種）唐花見湿原で、いきなりイスカのご夫婦。これには参った。姫川ダムでは、キンクロハジロ、ホシハジロ、マガモなどワンチャンスを物にした。早起きは何とやら。白馬三山の「モルゲンロート」を見つめて「ホッ」!!　浅間山ではウソをじっくり。マミチャジナイもほぼ全員がウォッチング。上部林道ではラッキーな人がキバシリ、ミヤマホオジロと対面できた。カサコソと落ち葉を踏みしめながら晩秋の白馬を満喫。「熊のハンモック」も見物したし、温泉浴も十分味わえた。　（町田好一郎）

11月9日（日）　熊谷市　大麻生
参加：41人　天気：晴

カイツブリ　カワウ　アオサギ　コハクチョウ　マガモ　カルガモ　コガモ　オナガガモ　トビ　ノスリ　チョウゲンボウ　コジュケイ　イソシギ　キジバト　カワセミ　コゲラ　ヒバリ　キセキレイ　ハクセキレイ　セグロセキレイ　ヒヨドリ　モズ　ジョウビタキ　シジュウカラ　メジロ　ホオジロ　カワラヒワ　シメ　スズメ　ムクドリ　ハシボソガラス　ハシブトガラス（32種）強風のため小鳥はなかなか姿を現わしてくれなかった。このためかコゲラが近くの木に止まってつついている姿に全員見入ってしまった。明戸堰上流にはコハクチョウが約40羽見られたが、カモ類の種類、数ともに少なくさびしかった。　（和田康男）

11月9日（日）　富士見市　柳瀬川
天気：晴　参加：61人

カワウ　ダイサギ　コサギ　マガモ　カルガモ　コガモ　ヒドリガモ　オナガガモ　チョウゲンボウ　キジ　イカルチドリ　タゲリ　イソシギ　タシギ　ユリカモメ　セグロカモメ　キジバト　カワセミ　ヒバリ　キセキレイ　ハクセキレイ　セグロセキレイ　タヒバリ　ヒヨドリ　モズ　ホオジロ　アオジ　カワラヒワ　シメ　スズメ　ムクドリ　ハシボソガラス　ハシブトガラス（33種）橋を渡って田圃に出ると、期待のタゲリが最初に出現して全員で観賞した。カモ類の数は例年より少ないが、チョウゲンボウや枝に止まったキジ♀も珍しく、中州のタシギ７羽にも感激して、心地好い土手下での解散となった。　（高草木泰行）

11月16日（日）　長瀞町　宝登山
参加：49人　天気：曇

カワウ　コサギ　キジバト　アカゲラ　コゲラ　ハクセキレイ　セグロセキレイ　ヒヨドリ　モズ　ジョウビタキ　ツグミ　ウグイス　エナガ　ヒガラ　ヤマガラ　シジュウカラ　メジロ　ホオジロ　カシラダカ　カワラヒワ　イカル　シメ　スズメ　ムクドリ　カケス　ハシボソガラス　ハシブトガラス（27種）紅葉は見ごろ。まずはジョウビタキ、ツグミと出て、ロープウェイ乗り場の駐車場でイカルの群れの中にシメが入っているのが見られた。途中でカワウの大群が荒川の上空を上流に向けて行くのが見られ、山頂ではエナガがゆっくり見られた。
（佐久間博文）

11月16日（日）　春日部市　内牧公園
参加：18人　天気：曇

コサギ　コジュケイ　キジバト　コゲラ　ヒバリ　キセキレイ　ハクセキレイ　タヒバリ　ヒヨドリ　モズ　ジョウビタキ　ウグイス　シジュウカラ　メジロ　ホオジロ　カワラヒワ　シメ　スズメ　ムクドリ　ハシボソガラス　ハシブトガラス（21種）平成７年１月から始めて10回目の探鳥会。地味ながら皆さんのご協力で定着してきたことに感謝したい。屋敷林の中でメジロ、シメ、コゲラ、ホオジロなどを確認し、駐車場ではいつものジョウビタキが出てくれてほっとした。刈り田の中ではタヒバリ、ヒバリをじっくり見た。あいにくマラソンの練習で、常連のタゲリが出てくれなかったのは残念であった。　（吉安一彦）

連　絡　帳

●評議員制度改正案骨子を提示

平成９年11月18日付けで、黒田長久会長から全国の評議員・支部長らに「評議員制度改正案骨子」が提示されました。

「評議員」とは、全国の会員の代表として理事会など執行部に対するチェック機能を働かせ、会の基本方針などを話し合う評議員会のメンバーです。現行では各支部１名ずつが選出され、埼玉県支部では海老原副支部長が担当しています。

しかし、評議員の定数などの点から現行制度の改正が必要になり、海老原評議員が副委員長をつとめた委員会が設置されて、昨年２月に同委員会から理事会に対し、答申書が提出されました。その後全国支部からの意見を聞いた上で、同委員会の答申を尊重した改正案骨子が示されたものです。

関東ブロック協議会では、既に改正案の受け入れを決め、改正案施行の際の新たな評議員のブロックでの選出方法についても話し合っています。

●臨時普及部会開催します

普及部（榎本秀和部長）では、毎月偶数月の第１土曜日に部会を開いていますが、２月１日（日）に臨時部会を開くことになりました。普及部のメンバーはお集まりください。

●ガンカモ調査例年通りに実施

研究部（小荷田行男部長）は、「例年通り１月15日（祝）にガンカモ調査を実施しますので、ご協力いただける方はいつものところにお出かけ下さい」と呼びかけています。

●テレビ埼玉「野鳥」終了

海老原副支部長が撮影したビデオ映像を解説しながら、支部の探鳥会などをＰＲしていた連続番組「野鳥」が、昨年末の番組改正で終了しました。３年９ヵ月、合計177回続きました。長い間支えて下さった会員の皆様にお礼申し上げます。

●盛大に、ごめんなさいコーナー

先月号７ページ、伊豆沼探鳥会の日付けが間違っていました。

正しくは「１月24日(土)～25日(日)」であるところを、「１月25日(土)～26日(日)」と、暦にはない日にちになってしまいました。

袋づめ作業が終了したところで誤りが発見されましたが、既に訂正文を同封することは不可能な状態。やむなく、申し込み・問い合わせのあった方に個別に対応することにしました。結果としては、申し込まれた方は全員日付けの間違いを快く納得され、すぐに定員に達しました。申し訳ありませんでした。

●１月の事務局　土曜と日曜の予定

17日（土）２月号編集会議。研究部会議。
24日（土）２月号校正。役員会議。
31日（土）袋づめの会。

●会員数は

12月１日現在2,929人です。

活　動　報　告

11月12日（水）本部の会費制度改正委員会に出席（海老原）。
11月15日（土）12月号編集。研究部会議。
11月18日（火）北本自然観察公園と学習センターの運営についての意見交換会（大宮市にて）に出席（松井昭吾、岡安征也）。
11月22日（土）校正作業（海老原美夫、喜多峻次、喜多彌生）。事務局作業（丹茂子）。
同日　役員会議（司会：菱沼一充、各部の報告・インターネット支部ホームページを開設するかどうか・その他）。

編　集　後　記

Ｉ君が長い逃亡生活から帰ってきた。これからは、支部のために骨身を惜しまず働いてくれるそうだ。実にめでたい。　（中村お）

お久しぶりです。皆さんの暖かい歓迎には涙が出ます。と、ウソはこの位にして、ともかくまた仲良くしてください。　（何森要）

『しらこばと』1998年１月号（第165号）　定価100円（会員の購読料は会費に含まれます）
発行人 松井昭吾　編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部　TEL 048-832-4062　FAX 048-825-0460
〒336-0012 浦和市岸町４丁目26番８号 プリムローズ岸町107号　郵便振替 00190-3-121130
印刷　関東図書株式会社
（本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします）

再生紙使用